

(様式6) 社会資本総合整備計画 事後評価書 (案)

計画の名称	富士山静岡空港周辺地域						
計画の期間	平成19年度 ~ 平成23年度		交付対象	静岡県			
計画の目標	陸・海・空の複合的な交通ネットワークの形成による地域産業の活性化や新規産業の集積を図る。						
計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製造業の県内総生産額 63,636~70,943億円</li> <li>・製造品出荷額 全国3位以内</li> <li>・企業の立地件数 全国3位以内</li> <li>・県内港湾外国貿易取扱量 66万TEU</li> </ul>						
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値		備考	
				当初現況値 (H17)	中間目標値 (H 末)		最終目標値 (H22末)
① 製造業の県内総生産額				60,565億円 (H15)		63,636~ 70,943億円 (H22)	
② 製造品出荷額				全国3位 (H17)		全国3位以内 (H23)	
③ 企業の立地件数				全国3位 (H17)		全国3位以内 (H23)	
④ 県内港湾外国貿易取扱量				43.2万TEU (H17)		66万TEU (H22)	
全体事業費	合計 (A+B+C)	1,685 百万円	A	1,685 百万円	B	C	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)

静岡県社会資本整備重点計画における位置づけ			
第2期 (H20~H24)		第3期 (H25~H29)	
分野名 活力・交流		分野名	
目標名 活力・交流の基盤となる陸・海・空のネットワーク形成			
指標名 県内港湾における輸出・輸入コンテナ取扱個数		目標値 (H24)	74.3TEU
		指標名	目標値 (H29)

事後評価

1. 交付対象事業の進捗状況 (○:計画期間中に完成 △:計画期間終了後に完成見込(備考欄に完成予定時期を記入) -:その他(備考欄に具体的に記入(中止、未実施等))

交付対象事業																		
A1 道路事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考
											H19	H20	H21	H22	H23			
1-A1-1	道路	一般	静岡県	直接	-	都道府県道	改築	(主) 島田吉田線 (島田市船木)	バイパス L= 1.1km	島田市						1,015	○	
1-A1-2	道路	一般	静岡県	直接	-	都道府県道	改築	(主) 島田吉田線 (島田市中河)	バイパス L= 0.2km	島田市						325	○	
1-A1-3	道路	一般	静岡県	直接	-	都道府県道	改築	(主) 島田吉田線 (吉田町神戸)	バイパス L= 0.4km	吉田町						100	○	
1-A1-4	(提案)	一般	静岡県	直接	-			港湾・航空物流促進戦略調査		静岡県全域						30	○	
1-A1-5	(提案)	一般	静岡県	直接	-			岸壁高度利用化事業		御前崎市						215	○	
											合計					1,685		
B 関連社会資本整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考	
										H19	H20	H21	H22	H23				
											合計							

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	進捗 状況	備考
										H19	H20	H21	H22	H23			
										合計							
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

(参考) 計画の成果目標を同一とする地域自主戦略交付金の交付対象事業

(別添「事業実施計画」参照)

## 2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

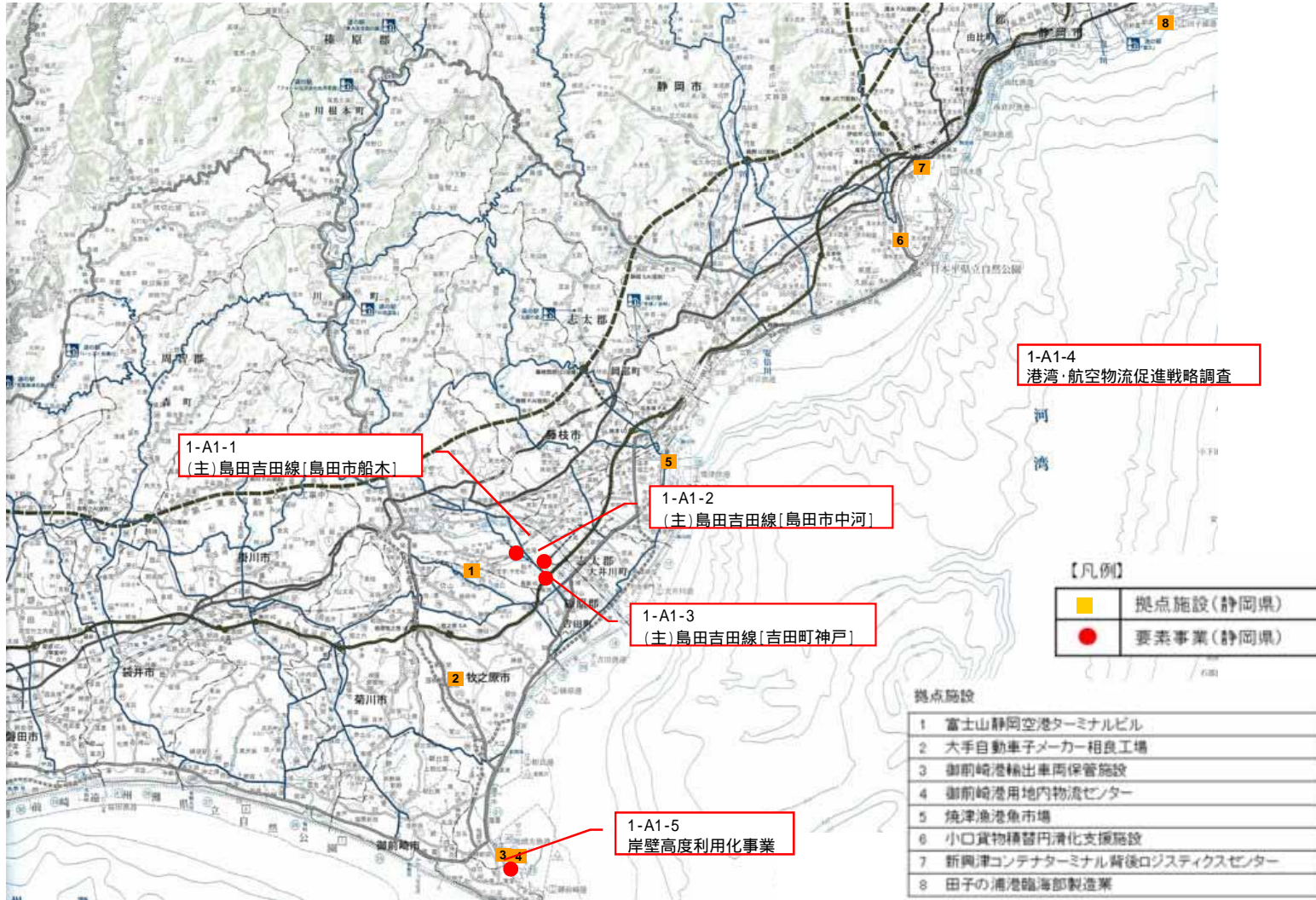
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>・(主) 島田吉田線のバイパス整備を行った結果、平成21年開港の富士山静岡空港へのアクセスが著しく向上され、企業立地上の条件が高まり、結果として、企業立地件数等の向上に寄与した。</li> <li>・御前崎港西埠頭岸壁において、背後の駐車場舗装、接続する道路等の整備を行った結果、円滑で効率的な荷役作業の実現により、物流コストの軽減が図られ、結果として、企業立地件数等の向上に寄与した。</li> </ul>														
定量的指標の達成状況	指標①（製造業の県内総生産額）	最終目標値	63,636～70,943億円	目標値と実績値に差が出た 要因	世界同時不況の影響により、平成21年度には52,126億円まで落ち込んだ。しかし、道路、港湾等の産業基盤整備の推進により、地域産業の活性化や新規産業の集積が図られたことにより、平成22年度には前年度比13.2%増の59,007億円まで回復したが目標値を下回った。											
		最終実績値	59,007億円													
	指標②（製造品出荷額）	最終目標値	全国3位以内	目標値と実績値に差が出た 要因	道路、港湾等の産業基盤整備の推進により、地域産業の活性化や新規産業の集積が図られたが、平成23年度の製造品出荷額は14兆9497億円で3位の大阪府16兆4925億円とは僅差で全国4位となり目標値を下回った。											
		最終実績値	全国4位													
	指標③（企業の立地件数）	最終目標値	全国3位以内	目標値と実績値に差が出た 要因	道路、港湾等の産業基盤整備の推進により、地域産業の活性化や新規産業の集積が図られたことにより目標を達成した。											
		最終実績値	全国3位													
指標③（県内港湾外国貿易取扱量）	最終目標値	66万TEU	目標値と実績値に差が出た 要因	世界同時不況の影響により、平成21年度には34.1万TEUまで落ち込んだ。しかし、道路、港湾等の産業基盤整備の推進により、地域産業の活性化や新規産業の集積が図られたことに加え、官民一体となったポートセールスの推進等により、平成22年度には前年度比18.5%増の40.4万TEUまで回復したが目標値を下回った。												
	最終実績値	40.4万TEU														
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・御前崎港西埠頭岸壁において、フェンス等保安機械設備の設置により保安対策が向上した。</li> </ul>														

## 3. 特記事項（今後の方針等）

交付対象事業以外にも、高規格幹線道路（新東名高速道路）や地域高規格道路（金谷御前崎連絡道路（相良バイパス）、あるいは国道事業（静清バイパス）等の基盤整備が進み、地域産業の競争力の強化が進んでいる。また、新たな地域高規格道路（金谷御前崎連絡道路（金谷相良道路Ⅱ））事業も進められており、今後も陸・海・空の複合的な交通ネットワークの形成による各種インフラを活用した取り組みが期待される。

(様式6) 社会資本総合整備計画 (参考図面)

計画の名称	富士山静岡空港周辺地域		交付対象	静岡県
計画の期間	平成19年度 ~ 平成23年度			

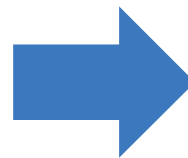


# 事業効果の発現状況

## 道路改築事業

このバイパスが平成22年9月に開通し、(主)島田吉田線の慢性的な交通渋滞が緩和され、島田市と榛南地域との円滑な南北交通が確保されるとともに、富士山静岡空港へのアクセス性が向上し、結果として、企業立地上の条件が高まりました。

(主)島田吉田線(島田市船木)(空港周辺)



いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部

# 事業効果の発現状況

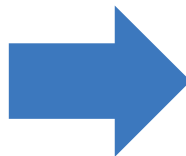
## 岸壁等整備事業

御前崎港西埠頭岸壁において、背後の駐車場舗装、接続する道路等の整備を行った結果、円滑で効率的な荷役作業の実現により、物流コストの軽減が図られ、結果として、企業立地件数等の向上に寄与しました。

御前崎港 西埠頭岸壁（御前崎市）



整備前の状況



整備後の状況